



前夜祭

大会前日の2月23日、総合福祉センターで前夜祭を開催。映像で西日本豪雨を振り返り、参加者全員が復興への思いを一つにしました。
有森裕子さんとエリック・ワイナイナさんからは、本番に向けたワンポイントレッスンも行われました。

2245人のボランティアとランナーを励ます声援

2万1228人のランナーを支えたのは2245人のボランティアでした。
沿道警備や給水、駐車場、応援などで、ゴールに向かって快走するランナーにエールを送りました。



吉備路を駆ける

大会は、フルマラソン、大黒天物産コース（ハーフマラソン）、フレヴァンコース（10km）、もっと自分らしく☆キャリアプランニングコース（5km）、おいしそうじゃ！モンテールコース（3km）の5種目と、「カルピス」誕生100周年！ファミリーコース（1.5km）、スマイルきびしんファミリーコース（800m）の2イベントで開催。ランナーは、歴史ロマンあふれるコースを堪能しながら快走しました。



おもてなしの準備

大会本番に向け、おもてなしの準備が進められました。
総社高校と総社南高校の書道部は応援用横断幕を、市内の各保育所（園）は応援用小旗を作成しました。市体育協会婦人バレーボール部は、1万5000人分の豚汁を準備しました。

